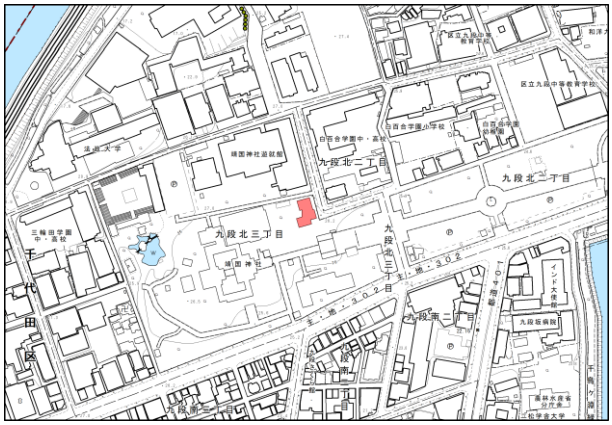
千代田区景観まちづくり重要物件

9-6 能楽堂・舞台

指定日	2003（平成 15）年 6 月 9 日
所在地	九段北三丁目 1 番 1 号
設計者	不詳
竣工	1880（明治 13）年
文化財等指定状況	-



▲能楽堂・舞台

歴史・文化的特徴

能楽堂・舞台は元々、1881（明治 14）年に華族らの能楽保護団体「能楽社」が、宮内省技師・白川勝文の監督により東京・芝公園に建てた「芝能楽堂」であり、1903（明治 36）年に靖国神社に奉納、移築されました。

意匠・構造の特徴

近代和風の建物です。銅版葺き入母屋正面破風のオーソドックスな屋外能舞台となっています。

舞台部分の外壁に塗り替えが見られますが、原型をよく留めています。

周辺景観との関係

靖国神社内の参道沿いにあり、野外の舞台であるために参道周辺からよく見えます。

境内の緑、本殿、到着殿などの建物と共に荘厳で落ち着きのある景観を形成しています。